

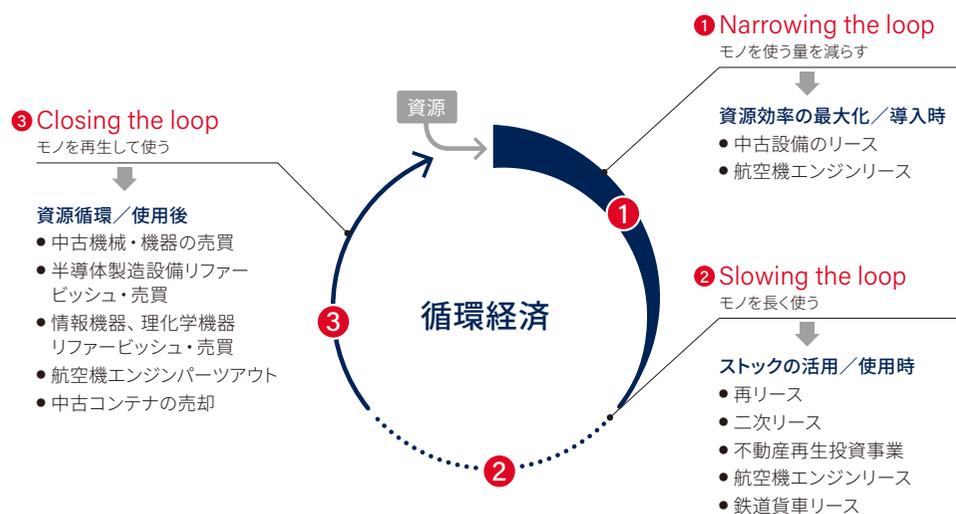
サーキュラーエコノミーの実現

当社グループは、“サーキュラーエコノミーの実現”をマテリアリティ(重要課題)として掲げ、経営理念である“アセットの潜在力を最大限に引き出し社会価値を創出する”ための具体的なアプローチの1つとして取り組んでいます。

当社グループにおけるサーキュラーエコノミー

当社グループでは、さまざまなビジネスによりサーキュラーエコノミー(循環経済)の実現に貢献しています。

租業であるリースはそのビジネスモデルの特性上、サーキュラーエコノミーと親和性が高く、当社グループは契約の対象となる設備・機器の“価値を最大化”するさまざまな提供価値・ソリューションを有しています。当社グループのサーキュラーエコノミー関連ビジネスは、以下図表のとおり、循環経済実現のための各要素と連関しています。本ページで取り上げている事例を中心に、多くの領域においてサーキュラーエコノミーに関連するビジネスに取り組んでいます。

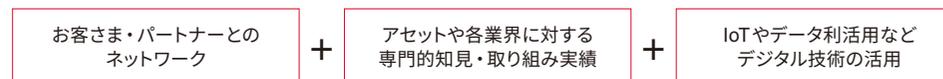


<参考文献>田崎 智宏「サーキュラーエコノミーの実現に向けた転換と情報発信」(2024) アド・スタディーズ Vol.87 2024
Bocken, N. M. P., De Pauw, I., Bakker, C., van Der Grinten, B. (2016) Product design and business model strategies for a circular economy. Journal of Industrial and Production Engineering, 33 (5) : 308-320.

サーキュラーエコノミーの実現に向けた取り組みは、複数のステークホルダーの課題解決につながります。この取り組みと当社グループが有する動脈産業、静脈産業の双方とのネットワークは課題解決に際しての強みとなります。

当社グループの強みを生かし、アセット利用者の価値向上や、アセット自体のライフサイクルを通しての価値向上に取り組んでいます。

関連ビジネスにおける当社グループの強み



また、当領域における知見を高め、取り組みを一層推進していくために、サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップである「サーキュラーパートナーズ」に参画しています。

その活動において作成された「CEコマース取組事例」には、当社グループの「半導体製造装置のライフサイクルに応じたソリューション」が掲載されています。



関連ビジネスの代表例

サーキュラーエコノミー関連ビジネス	ユニット・本部	部署名／グループ会社名
半導体製造設備リファービッシュ・売買 産業・工作機械の売買 情報機器・理化学機器のリファービッシュ・リユース・リサイクル	■ カスタマーソリューションユニット	インダストリー営業本部 エレクトロニクス営業部 U-MACHINE MHC環境ソリューションズ
航空機エンジンリース 航空機エンジンパーツアウト	■ 航空事業本部	Engine Lease Finance inav
不動産再生投資事業	■ 不動産事業本部	三菱HCキャピタルリアルティ
海上コンテナリース 鉄道貨車リース	■ ロジスティクス事業本部	CAI International PNW Railcars

サーキュラーエコノミーの実現

アセットのライフサイクルステージにおける当社グループの提供価値・ソリューション

導入時

幅広いファイナンス機能を提供

脱炭素化・省エネルギー化を促進する設備や、航空機体の稼働率向上に資するエンジン提供など、お客さまのニーズを満たす適切なモノを提供する機能や、お客さまが使用したいというニーズ（≠所有）を実現するためのオペレーティングリースやシェアリング、レンタルといった幅広いファイナンス機能を提供しています。

関連ビジネス ESGリース促進事業、GX Assessment Lease、航空機エンジンリース、中古設備・機器リース など

使用時

リース契約

契約期間満了の際に、「再リース契約（通常1年ごとの延長契約）」「返却」の選択肢を提供し、「再リース契約」を選択の場合には当初契約期間と比べ低廉な費用で1年ごとの延長使用を可能にしています。また、残価設定型のリースでは、残価を元本としたリース（二次リース）の組み直しに対応しています。

不動産再生投資事業

ストックの活用を促す取り組みとして、築古オフィスなどを取得し、設備更新や共有部のリニューアル工事など不動産の価値を再生する事業を行っています。



リニューアル実施後のオフィスビル

航空機エンジンリース事業

適時適切な整備・保守を通じて資産価値を維持・向上させ、長期使用を可能としています。

関連ビジネス 設備・機器のリファーマビッシュ、不動産再生投資事業、航空機エンジンリース など

使用後

二次利用

リース契約期間満了の際に「返却」が選択された場合には、返却物件について新たなお客さままでの二次活用などへつなげます。当社グループの専門性やネットワークといった強みを生かし、お客さまから返却された設備・機器やお客さまの遊休資産・設備を買い取り、ほかのお客さまへリースするほか、リファーマビッシュ・リユースビジネスに複数の領域で取り組んでいます。

MHCセミテクノロジーズ(コラム) ▶ P.28

パーツアウト事業

設備・機器としてリユースすることが困難な航空機エンジンや情報機器なども、解体・整備し補用品として使用価値のある部品に関してパーツアウト事業を展開するなど、リユースやリサイクルの可能性を追求します。

最終的にリユース・リサイクルが難しいものは適正に廃棄を行うことで、サーキュラーエコノミーの実現に貢献しています。

資源循環／使用後に関連する実績（2024年度）

中古機械・
機器の売却額 **163**億円

カスタマーソリューションユニットの産業工作機械、半導体製造設備、理化学機器、建設機械、情報機器、医療機器を対象とした中古機械・機器の売却合計額

PCリファーマビッシュ・売却台数 **48**万台超

リース満了返却物件やお客さまの遊休資産を買い取り、データ消去をはじめとした適切なリファーマビッシュなどを行うリユースビジネスを展開

コラム 1

当社とLexxPlussが資本業務提携契約を締結、物流事業者向けにロボットのサブスクリプションを提供開始

当社グループの強みとパートナー企業の強みが結びつき、利用者となる物流事業者のニーズに応えることを可能としたサブスクリプションサービスです。

物流事業者の課題の1つである自動化や効率化を目的としたロボット導入ですが、導入コストのほかにも自動化に向けた業務設計等、効果を出すための取り組みが必要不可欠であり、その導入支援や導入後の見える化、最適化までパートナー企業と力を合わせサービスを提供していきます。（イノベーション投資ファンドを活用）



変革を促す仕組み ▶ P.21

コラム 2

当社とリノベルが資本業務提携契約を締結、中古不動産の再生・投資事業を通じたサーキュラーエコノミーの実現に貢献

リノベーションにより価値向上が可能な企業や自治体が保有する不動産を対象として、当社グループの不動産再生投資、アセットマネジメント機能、リノベルの企画、リノベーション、運営機能を活用していきます。不動産の取得からリノベーションによる資産価値の最大化まで一貫したプロジェクトの共同推進や両社協働による新規事業の開発などの不動産再生投資事業に取り組んでいく予定です。（イノベーション投資ファンドを活用）

らしい暮らしを、見つけよう
リノベル。